

長崎県の農林水産業の概要

特徴・取組

長崎県は、九州の西北部に位置し、海域を含めて東西213km、南北307kmに及ぶ。離島・半島地域が大部分を占めていることから、平坦地に乏しく地形が複雑で急傾斜地が多い。また、海岸線の延長は北海道に次ぎ全国第2位であり、長く複雑な海岸線には多くの湾や入江が形成されており、海面養殖の適地として活用されている。

一方で、大消費地から遠隔地にあり、地理的・地形的な条件には恵まれていない。

産業構造は、県内総生産（令和3年度：4兆6,207億円）を産業別にみると、第1次産業が1,092億円（2.4%）、第2次産業が1兆1,020億円（23.8%）、第3次産業が3兆3,647億円（72.8%）となっている。

農林業においては、平坦地が少ないという厳しい耕地条件ではあるが、県内各地で、地形や自然条件を活かした農林業が営まれている。

水産業においては、東シナ海と日本海を回遊する多くの魚介類に恵まれており、海洋環境の多様性に比例して、内湾から沖合までの漁場環境を活かした多種多様な漁業が営まれている。

諫早湾干拓地でのたまねぎ、レタス等の大規模生産、各地域でのブロッコリー等の露地野菜と合わせた集出荷施設の整備が進んでいる。また、いちご、トマト、花き等の施設園芸も拡大しており単収向上に向けて取り組まれている。さらに、県内各地において肉用牛の増頭も進んでいる。これらの取組により、農業産出額は増加傾向で推移している。

令和3年度から令和7年度まで5年間の長崎県水産業振興の指針として、「長崎県水産業振興基本計画」を策定し、計画の基本理念である「多様な人材が活躍し、環境変化に強い持続可能な水産業と賑わいのある漁村づくり」に向け、関係者が一体となり、力強い水産業の実現に向けて様々な取組が実施される。

主な農林水産物

肉用牛

離島を中心に県内各地で飼養され、地域経済を支える重要な品目。（県産出額1位、飼養頭数全国5位）



いちご

江戸時代、オランダ人によって長崎に伝来され、今では「ゆめのか」を中心に県下全域で栽培されている。（収穫量全国6位）



みかん

大村湾から佐世保湾に面した一帯が主産地。みかんの品質を高めるシートマルチ栽培を推進。（収穫量全国5位）



たい類

県内一円で刺し網や一本釣り等により漁獲されている。（漁獲量全国1位）



ふぐ類（養殖）

県の北部で養殖が盛んであり、収穫量は全国の約4割を占める。（収穫量全国1位）



ばれいしょ

橘湾に面した一帯が主産地で、温暖な気候を活かし、春と秋の年2回栽培している。（収穫量全国2位）



びわ

江戸時代から栽培されている長崎の特産品。長崎半島を中心に栽培され、収穫量は全国の約32%を占める。（収穫量全国1位）



あじ類

県内一円でまき網や一本釣り等により漁獲されている。各地でブランド化の取組も行われている。（漁獲量全国1位）



さば類

県内一円でまき網等により漁獲されており、一部地域でブランド化の取組も行われている。（漁獲量全国1位）



くろまぐろ（養殖）

五島、対馬で養殖が盛んであり、県もマグロ養殖振興プランを策定し、後押しを行っている。（収穫量全国1位）



長崎県内の各地域における農林水産物

壱岐地域

【農畜産物】水稲、アスパラガス、メロン、葉たばこ、肉用牛
【水産物】いか類、ぶり類、くろまぐろ、さわら類

県北地域

【農畜林産物】みかん、いちご、メロン、アスパラガス、ブロッコリー、ぶどう、茶、肉用牛、しいたけ
【水産物】いわし類、あじ類、さば類、まだい、ぶり類、いさき、ふぐ類(養殖)、くろまぐろ(天然・養殖)

県央地域

【農畜産物】水稲、いちご、ばれいしょ、たまねぎ、アスパラガス、にんじん、トマト、びわ、みかん、茶、カーネーション、肉用牛、豚
【水産物】いわし類、あじ類、さば類、えび類、かき類(養殖)、ふぐ類(養殖)

対馬地域

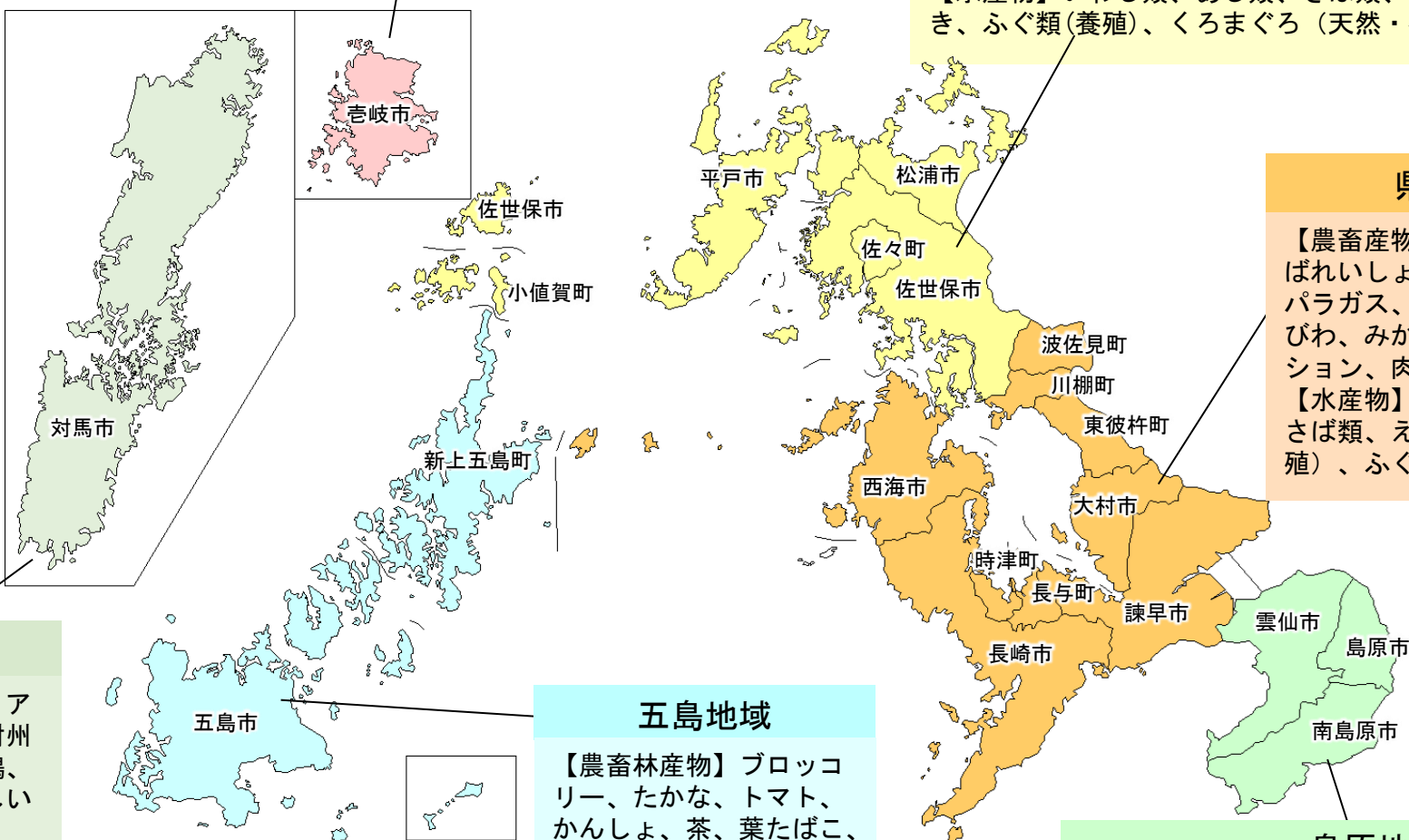
【農畜林産物】アスパラガス、対州そば、対馬地鶏、あか牛、原木しいたけ
【水産物】いか類、くろまぐろ(天然・養殖)、ぶり類、あまだい類、あなご類、さざえ、真珠

五島地域

【農畜林産物】ブロッコリー、たかな、トマト、かんしょ、茶、葉たばこ、肉用牛、豚、つばき油
【水産物】あじ類、さば類、たちうお、くろまぐろ(天然・養殖)、まだい、いさき、ぶり類

島原地域

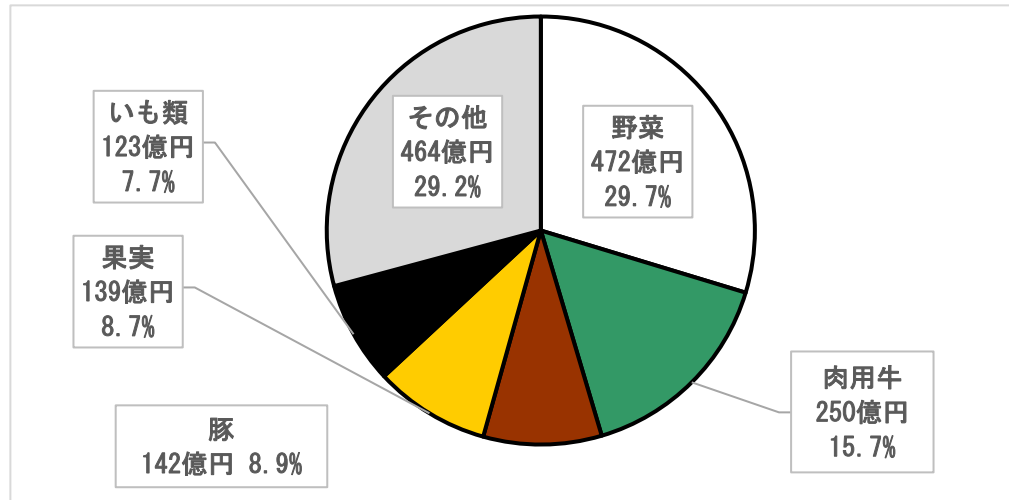
【農畜林産物】ばれいしょ、だいこん、にんじん、はくさい、すいか、いちご、アスパラガス、レタス、トマト、ブロッコリー、葉たばこ、肉用牛、豚、しいたけ
【水産物】いわし類、ふぐ類、がざみ類、たこ類、えび類、わかめ類(養殖)、のり(養殖)



長 崎 県 の 農 業 (1)

- ・農業産出額は1,590億円で全国23位。うち米が101億円(6.4%)、野菜が472億円(29.7%)、畜産が627億円(39.4%)。
- ・農畜産物の生産状況は、びわが全国1位、ばれいしょが2位、レタス、たまねぎが4位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区 分	年次	長 崎 県	全 国	全国順位	
ばれいしょ	収穫量	R5	85,000 t	2,364,000 t	2
レタス	収穫量	R5	35,200 t	546,100 t	4
たまねぎ	収穫量	R5	29,900 t	1,174,000 t	4
にんじん	収穫量	R5	32,700 t	567,000 t	5
かぼちゃ	収穫量	R5	4,520 t	159,900 t	5
いちご	収穫量	R5	10,100 t	161,800 t	6
みかん	収穫量	R5	43,600 t	681,600 t	5
びわ	収穫量	R6	697 t	2,310 t	1
きく	出荷量	R5	49,500 千本	1,187,000 千本	5
肉用牛	飼養頭数	R6	93,500 頭	2,672,000 頭	5

出典:「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「畜産統計」

農業産出額のデータ

区 分	長崎県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	1,590 億円 (100.0)	94,952 億円 (100.0)	23
米	101 億円 (6.4)	15,193 億円 (16.0)	39
麦類	1 億円	678 億円	21 *
雑穀	0 億円	77 億円	20
豆類	1 億円	572 億円	35
いも類	123 億円	2,301 億円	5
野菜	472 億円 (29.7)	23,243 億円 (24.5)	17
果実	139 億円 (8.7)	9,590 億円 (10.1)	17
花き	89 億円	3,522 億円	11
工芸農作物	28 億円	1,467 億円	10
その他作物	7 億円	585 億円	23 *
畜産	627 億円 (39.4)	37,212 億円 (39.2)	17
肉用牛	250 億円	7,696 億円	7
乳用牛	53 億円	9,249 億円	27
生乳	48 億円	8,310 億円	28
豚	142 億円	7,194 億円	15
鶏	182 億円	12,033 億円	22
鶏卵	92 億円	7,413 億円	25
ブロイラー	89 億円	4,471 億円	11 *
その他畜産物	1 億円	1,041 億円	37
加工農産物	2 億円	513 億円	19

出典:「令和5年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和5年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注:()は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和7年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」: 単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」: 事実のないもの

「…」: 調査を欠くもの

「x」: 秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」: 秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

長 崎 県 の 農 業 (2)

- ・耕地面積は4万4,900haで全国30位。うち田が2万500ha、畑が2万4,400ha。
- ・農業経営体数は1万7,936経営体で全国29位。うち法人経営体が387経営体で36位。
- ・市町村認定及び都道府県認定経営体数は5,011経営体で全国17位。うち法人数が373法人で34位。
- ・農業生産関連事業は、農家民宿の年間販売（売上）金額が1億円で全国13位、経営体数は40経営体で7位。

耕地面積

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位
耕地面積	44,900 ha	4,272,000 ha	30
田	20,500 ha	2,319,000 ha	38
畑	24,400 ha	1,952,000 ha	17
普通畑	19,500 ha	1,118,000 ha	16
樹園地	4,700 ha	248,600 ha	16
牧草地	260 ha	585,900 ha	31
参考) 総土地面積	4,131.20 km ²	377,975.68 km ²	37

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和7年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	14,075 ha	256,676 ha	1

出典：「令和5年度の荒廃農地面積(令和6年3月31日現在)」

農業経営体数、総農家数及び集落営農数

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位
農業経営体数	17,936 経営体	1,075,705 経営体	29
法人経営体	387 経営体	30,707 経営体	36
総農家数	28,282 戸	1,747,079 戸	29
販売農家	17,329 戸	1,027,892 戸	28
参考) 世帯総数	558,230 世帯	55,830,154 世帯	29
集落営農数	103 集落営農	13,998 集落営農	33

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和6年集落営農実態調査結果(令和6年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	20,685 ha	2,593,345 ha	29
集積率	45.8 %	60.4 %	19

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和5年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	25,107 人	1,363,038 人	25
男	14,750 人	822,144 人	26
女	10,357 人	540,894 人	25
65歳以上	15,482 人	948,621 人	28
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	61.7 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	5,011 経営体	216,784 経営体	17
法人数	373 法人	29,128 法人	34
参考) 人口総数	1,312,317 人	126,146,099 人	30

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和6年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位
農産加工	総額 7,768 百万円 事業体数 240 事業体	999,786 百万円 27,760 事業体	33 41
農産物直売所	総額 18,108 百万円 事業体数 220 事業体	1,126,420 百万円 21,240 事業体	27 36
観光農園	総額 129 百万円 経営体数 30 経営体	37,281 百万円 5,050 経営体	45 37
農家民宿	総額 113 百万円 経営体数 40 経営体	5,352 百万円 1,140 経営体	13 * 7
農家レストラン	総額 569 百万円 事業体数 20 事業体	39,434 百万円 1,360 事業体	28 * 21

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

長 崎 県 の 林 業

- ・林業産出額は60.2億円で全国26位。うち木材生産が14.6億円、栽培きのこ類生産が45.0億円。
- ・林産物の生産状況は、素材生産量が全国34位、つばき油が全国1位、乾しいたけが8位、ぶなしめじが9位。

林業産出額

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位
林業産出額	60.2 億円	5,562.5 億円	26
木材生産	14.6 億円	3,257.0 億円	34
栽培きのこ類生産	45.0 億円	2,199.2 億円	10

出典：「令和5年林業産出額」

林野面積

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位
林野面積	246,301 ha	24,770,201 ha	34
国有林	24,096 ha	7,153,338 ha	31
民有林	222,205 ha	17,616,863 ha	33
人工林面積	104,583 ha	10,133,111 ha	36

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業経営体数

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位
林業経営体数	178 経営体	34,001 経営体	40
法人経営体	46 経営体	4,093 経営体	32

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林産物の生産状況

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位
素材生産量	128 千m ³	20,647 千m ³	34
針葉樹	118 千m ³	18,926 千m ³	32 *
すぎ	67 千m ³	11,917 千m ³	36
ひのき	51 千m ³	3,180 千m ³	20 *
広葉樹	10 千m ³	1,721 千m ³	27 *
つばき油	生産量 18 kl	40 kl	1 *
乾しいたけ	生産量 39 t	1,816 t	8
生しいたけ	生産量 2,516 t	63,374 t	10
ぶなしめじ	生産量 973 t	117,924 t	9 *

出典：「令和5年木材統計」、「令和5年特用林産基礎資料」

製材工場数

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位
製材工場数	42 工場	3,749 工場	40
製材用素材の入荷があった工場数	41 工場	3,722 工場	40
国産材のみ	28 工場	3,116 工場	39
国産材と輸入材	13 工場	511 工場	17

出典：「令和5年木材統計」

長 崎 県 の 漁 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は1,238億円で全国2位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のまだい、さば類、まあじが全国1位、海面養殖業のふぐ類、くろまぐろが1位。
- ・ 漁業生産関連事業は、水産物直売所の年間販売（売上）金額が20億円で全国4位、事業体数は40事業体で6位。

漁業産出額

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	1,238 億円	15,265 億円	2
海 面 漁 業	709 億円	9,534 億円	2
海 面 養 殖 業	529 億円	5,731 億円	3

出典：「令和5年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	4,804 経営体	65,662 経営体	2
内水面漁業経営体数	16 経営体	4,076 経営体	41

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	9,208 人	121,389 人	2
男	8,291 人	109,757 人	2
女	917 人	11,632 人	3

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位
漁船隻数	7,907 隻	109,283 隻	2
動力漁船	5,197 隻	58,906 隻	2

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	315,422 t	3,777,921 t	2 *
海面漁業漁獲量	292,890 t	2,926,411 t	2
まだい	1,848 t	14,706 t	1
さば類	76,146 t	269,636 t	1
まあじ	42,567 t	92,280 t	1 *
海面養殖業収獲量	22,532 t	851,509 t	12 *
ふぐ類	1,083 t	2,742 t	1 *
くろまぐろ	6,253 t	16,200 t	1 *
内水面漁業・養殖業生産量	13 t	51,908 t	37 *
内水面漁業漁獲量	- t	21,567 t	- *
内水面養殖業収獲量	13 t	30,341 t	38 *

出典：「令和5年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分		長 崎 県	全 国	全国順位
水産加工	総額	7,635 百万円	179,159 百万円	5 *
	事業体数	170 事業体	1,220 事業体	2
水産物直売所	総額	2,000 百万円	34,988 百万円	4 *
	事業体数	40 事業体	810 事業体	6
漁家民宿	総額	90 百万円	5,389 百万円	15 *
	経営体数	30 経営体	540 経営体	3
漁家レストラン	総額	292 百万円	13,249 百万円	13 *
	事業体数	10 事業体	380 事業体	8

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

長崎県の農林水産業の話題等

第3期ながさき農林業・農山村活性化計画

本計画は、令和12年度の本県の農林業・農山村の目指す姿を描きながら、令和3年度から令和7年度までの5年間の施策の方向性を示すものとして計画されている。

【基本理念】

若者から「選ばれる」、魅力ある農林業・暮らしやすい農山村の実現を目指す。

【基本目標】

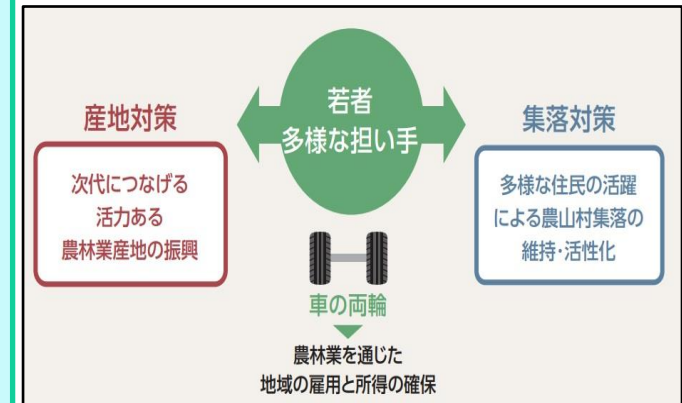
「産地対策」・・・次代につなげる 活力ある 農林業産地の振興

- 1 次代を支える農林業の担い手の確保・育成
- 2 生産性の高い農林業産地の育成
- 3 産地の維持・拡大に必要な生産基盤、加工・流通・販売対策の強化

「集落対策」・・・多様な住民の活躍による農山村集落の維持・活性化

- 1 農山村集落に人を呼び込む仕組みづくり
- 2 農山村地域全体で稼ぐ仕組みづくり

上記2つの対策を車の両輪として施策を展開し、地域の雇用と所得の確保を目標としている。



第3期ながさき農林業・農山村活性化計画のイメージ図

農林水産大臣賞受賞 浜塚さん夫妻（雲仙市） /ながさき農林業大賞

地域の特性を活かした先進的な取組で成果を上げている農林業者を長崎県が表彰する令和6年度「ながさき農林業大賞」の中から、雲仙市の花き栽培農家である浜塚剛さん、恵美さん夫妻が最高賞の農林水産大臣賞を受賞した。

【浜塚さん夫妻の取組内容】

- ・実需者ニーズの把握を積極的に行い、土づくりや定期的な土壌分析結果を活用した肥培管理、植物生理を第一に考えた栽培管理の実践により高品質なカーネーションを生産し、浜塚氏を表す「TSUYOSHI'S FLOWERS」としてブランドを確立。
- ・UV-Bランプ等の新技術の積極的な導入による減農薬栽培、農福連携により花びらを多色染めた高付加価値商品レインボーカーネーションの生産、外国人材を活用した雇用型経営を実践。



浜塚さん夫妻